

施工仕様書 「セラ水性シーラーA」

概要	セラ水性シーラーAはアクリル樹脂エマルジョンで耐アルカリ性、耐水性、造膜性の良い樹脂であるため、建築物の下地に塗布する事によって優れた皮膜を形成します。
特徴	従って、シーラーとして使用すれば、①下地の補強、②下地のアルカリ止め、③下地の吸込みムラの解消等がはかれ、仕上塗材の仕上りを良くし、下地への付着性も高める事ができます。 セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロッセンス等を固化し下地を補強します。 下地の水引きが大きい場合は下地の表面状態を均質にし、仕上塗材のパターンの一定化及び色ムラ防止がはかれ、逆に下地が平滑すぎて正常な接着が妨げられるような場合は、セラ水性シーラーA塗布によって仕上塗材との接着性を向上させる事ができます。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。
用途	合成樹脂エマルジョンですから希釈、塗布とも作業が容易です。
適用下地	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物(新築・改修)の内外壁面。 コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・下地の種類によって適切な処理をしてください。 ・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 ・旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。				
2 下塗り	セラ水性シーラーA 18kg 清水 0~18kg	0.1~0.3	・塗料用刷毛 ・ウールローラー ・エアースプレー ・エアレスユニット	1~2	3時間以上

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。
※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 注意事項

下地の処理について

- ・下地は放置して十分に乾燥させます。(pH10以下、含水率10%以下)
- ・塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- ・油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- ・下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。

セラ水性シーラーA

- ・セラ水性シーラーAの塗布は下地の吸水性を均一にする事も大きな目的であるため部分的に塗布過多になって、だれを生じたり、逆に少な過ぎたり、また塗り残し等がないように注意してください。

施工仕様書 「セラ水性シーラーHi」

概要	セラ水性シーラーHiは特殊高分子エマルジョンで耐アルカリ性、耐水性、造膜性の良い樹脂であるため、建築物の下地に塗布することによって優れた皮膜を形成します。従って、シーラーとして使用すれば、下地の吸い込み止め、下地のアルカリ止め等がはかれ、仕上塗材の仕上りを良くし、下地への付着性も高めることができます。
特徴	セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロレッセンス等を固化し下地を補強します。 下地の水引きが大きい場合は下地の表面状態を均質にし、仕上塗材のパターンの一定化及び色ムラ防止がはかれ、逆に下地が平滑すぎて正常な接着が妨げられるような場合は、セラ水性シーラーHi塗布によって仕上塗材との接着性を向上させる事ができます。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。
用途	合成樹脂エマルジョンですから希釈、塗装とも作業が容易です。
適用下地	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物（新築・改修）の内外壁面。 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 下地の種類によって適切な処理をしてください。 改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。 				
2 下地処理	セラ水性シーラーHi 15kg 清水 1.5~4.5kg	0.10~0.15	<ul style="list-style-type: none"> 塗料用刷毛 ウールローラー エアースプレー エアレスユニット 	1~2	3時間以上

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。
※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 注意事項

下地の処理について

- 下地は放置して十分に乾燥させます。(pH10以下、含水率10%以下)
- 塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- 油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- 下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。
- 改修時の旧塗膜については、劣化状況に応じて、適切な下地調整をして下さい。

セラ水性シーラーHi

- セラ水性シーラーHiの塗装は下地の吸水性を均一にする事も大きな目的であるため部分的に塗布過多になって、だれを生じたり、逆に少な過ぎたり、また塗り残し等がないように注意してください。

作成日 2018年6月1日

改定日

山本窯業化工株式会社

施工仕様書 「セラプライマーカラーHi」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。

適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットの施工は避けてください。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高湿等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・下地の種類によって適切な処理をしてください。 ・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 ・旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。				
2 下塗り	セラプライマーカラーHi 16kg 清水 0.8~1.2kg	0.2~0.3	・エアースプレー ・ウールローラー	1~2	3時間以上口

※ ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗装で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 上記の各数値は全て標準のもので、施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

※ 注意事項

・ 下地調整

- ・ 下地は放置して十分に乾燥させます。(pH10以下、含水率10%以下)
- ・ 塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- ・ 油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- ・ 下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。
- ・ 改修時の旧塗膜については、劣化状況に応じて、適切な下地調整をして下さい。

・ セラプライマーカラーHi

- ・ セラプライマーカラーHiは指定の標準色の中から選定してください。
- ・ 必ず全面に塗装してください。また、1回塗りで下地が隠べいしない場合には2回塗りしてください。透けた状態になっていると仕上がりにムラを生じる事があります。

施工仕様書 「セラ溶剤シーラーA」

概要	セラ溶剤シーラーAは一液弱溶剤型のウレタン(イソシアネート)樹脂クリヤー塗料で、耐アルカリ性、耐水性に優れているため下地に塗布する事によって優れた皮膜を形成します。
特徴	セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロレッセンス等を固化し下地を補強します。 下地の水引きが大きい場合は下地の表面状態を均質にし、仕上塗材のパターンの一定化及び色ムラ防止等にはエマルジョン系下地処理材を使用するよりも有効です。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。
用途 適用下地	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物(新築・改修)の内外壁面。 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 下地の種類によって適切な処理をしてください。 改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。 				
2 下塗り	セラ溶剤シーラーA 無希釈	14kg -	0.15~0.20 -	1~2	3時間以上 3日以内

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。
※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 注意事項

下地の処理について

- ・コンクリートおよびモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- ・表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- ・型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- ・下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- ・下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。

セラ溶剤シーラーA

- ・スプレー塗装の場合は、塗膜の剥離の原因となるドライアウト現象を起こさないように注意し、高温、強風下等の環境条件によってはシンナーを増量してください。
- ・セラ溶剤シーラーAは下地処理材であるため仕上材(トップコート)としての使用は絶対に避けてください。
- ・溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行してください。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工してください。

施工仕様書 「セラウレタンカラーシーラー〔2液〕」

概要	セラウレタンカラーシーラー〔2液〕は二液溶剤型のアクリルウレタン樹脂で、耐アルカリ性、耐水性に優れているため、下地に塗布することによって優れた皮膜を形成します。
特徴	セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロレッセンス等を固化し下地を補強します。 下地の水引きが大きい場合は下地の表面状態を均質にし、仕上塗材のパターンの一定化及び色ムラ防止等にはエマルジョン系下地処理材を使用するよりも有効です。 けい酸カルシウム板、せっこうプラスター、しっくい等表面が比較的脆弱な下地に塗布して浸透させ、表面を補強することができます。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。
用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高湿等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間	
1	下地調整					
	・下地の種類によって適切な処理をしてください。 ・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 ・旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。					
2	下塗り	セラウレタンカラーシーラー〔2液〕主剤 15kg セラウレタンカラーシーラー〔2液〕硬化剤 1kg セラウレタンカラーシーラーシンナー 6~10ℓ	0.15~0.25	・塗料用刷毛 ・ウールローラー ・エアースプレー ・エアレスユニット	1~2	3時間以上 3日以内

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。
※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 注意事項

下地の処理について

- 下地は放置して十分に乾燥させます。湿った状態で施工しますと溶剤系であるため付着性が悪くなったり、後から膨れを生じたりする原因となります。(pH10以下、含水率10%以下)
- 塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- 油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- 下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。
- 改修工事においては劣化状況に応じて、サンダー又はワイヤーブラシなどで除去し、粉を清掃してから塗布してください。
- 目地をV形とする場合は、ボード製造業者の指定による仕様によりパテを充填し平滑にします。
- 目地を突付けとする場合は目違い、止め付け釘に注意し、金物の穴等は防錆処理後、合成樹脂エマルジョンパテ等で地付けし、硬化後サンダーがけして平滑にします。

セラウレタンカラーシーラー〔2液〕

- スプレー塗装の場合は、塗膜の剥離の原因となるドライアウト現象を起こさないように注意し、高温、強風下等の環境条件によってはシンナーを増量してください。
- 溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行してください。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工してください。

施工仕様書 「セラエポキシマイルドシーラー〔2液〕」

概要	セラエポキシマイルドシーラー〔2液〕は二液弱溶剤型のエポキシ樹脂で、接着性、脆弱下地の浸透固化に優れているため、下地に塗布することによって優れた皮膜を形成します。
特徴	セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロレッセンス等を固化し下地を補強します。 下地の水引きが大きい場合は下地の表面状態を均質にし、仕上塗材のパターンの一定化及び色ムラ防止等にはエマルジョン系下地処理材を使用するよりも有効です。 けい酸カルシウム板、せっこうプラスターなど表面が比較的脆弱な下地に塗布して浸透させ、表面を補強する事ができます。 耐アルカリ性に優れているため、下地からのアルカリのしみ出しを防止し、下地からのアルカリの作用を受けにくくする事により、仕上塗材の塗膜を保護します。
用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	セメント系旧塗膜、コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、押出し成形板等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 下地の種類によって適切な処理をしてください。 改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。 旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。 				
2 下塗り	セラエポキシマイルド シーラー〔2液〕主剤 10kg セラエポキシマイルド シーラー〔2液〕硬化剤 1kg	0.12~0.2	<ul style="list-style-type: none"> 塗料用刷毛 ウールローラー エアースプレー エアレスユニット 	1~2	5時間以上 7日以内

※ 注意事項

下地の処理について

- 下地は放置して十分に乾燥させます。湿った状態で施工しますと溶剤系であるため付着性が悪くなったり、後から膨れを生じたりする原因となります。(pH10以下、含水率10%以下)
- 塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- 油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- 下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。
- 改修工事においては劣化状況に応じて、サンダー又はワイヤーブラシなどで除去し、粉を清掃してから塗布してください。
- 目地をV形とする場合は、ボード製造業者の指定による仕様によりパテを充填し平滑にします。
- 目地を突付けとする場合は目違い、止め付け釘に注意し、金物の穴等は防錆処理後、合成樹脂エマルジョンパテ等で地付けし、硬化後サンダーがけして平滑にします。

セラエポキシマイルドシーラー〔2液〕

- 1回の塗布で吸い込みが止まらない場合は、2回塗りしてください。
- 弱溶剤系塗料であるため施工に当っては換気及び通気をよくし、保護メガネ、マスク、手袋等の着用を励行してください。消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えると共に正しい使用により施工してください。